

## 【開会挨拶】

本日はこのように大勢の方からお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。本日のシンポジウムですが、この開催に至った経緯を少しお話しをさせていただきますと、皆さんご承知のとおり、新潟県は県土がとても広いです。山形県の県境から富山県の県境まで、海岸線の長さが大体 330km あります。この 330km というのを直線の距離に直してみると、実は新潟市から静岡市までの距離に相当します。こういったことから新潟県内は5本の高速道路、上越・北陸2本の新幹線が整備されています。こういった形で高速交通網が整備されておりますけれども、一方で2本の新幹線に挟まれた新潟地域と上越地域の間のアクセスをいかに改善するか、また高速化を進めるかというのが大きな課題となっています。また、その先には羽越新幹線の整備も見据えた、日本海側の日本海国土軸をどのように形成するかという国家プロジェクト的な大きな視点で捉えることも必要だと思っています。

そういったことから、新潟県では令和4年度に「高速鉄道ネットワークのあり方検討委員会」を設置して、高速鉄道の整備手法をどうしようかと、そういった検討を進めてきております。本日のシンポジウムでは、検討委員会で現在検討中ではありますけれども、その内容を皆さまにご紹介をしたいと思いますし、また今日を機会に高速鉄道の意義であるとか必要性とか、そういったものを改めて考えていただくきっかけになればと思っております。

また、この後トークセッションでご登壇いただきますのは、検討委員会の委員もやっていたいており、鉄道に大変ご造詣の深い富山大学の金山洋一先生。それから鉄道ファンの方はどなたもご存知だとは思いますが、ダーリンハニーの吉川正洋さん。それから新潟を代表するアイドルグループ NGT48 の佐藤海里さん。それから新潟大学の鉄道研究部の森田初穂さん。この方々にトークをしていただきたいと思いますし、思っております。

最後になりますけれども、今日1日が皆様方の有意義な時間になるようお祈りをいたしまして挨拶といたします。それではこれより開会をいたします。よろしくお願いいたします。